



第2回 視察研修会 (廃棄物等処理施設) 日本環境安全事業株式会社 (JESCO) 大阪市環境局 舞洲工場

日本環境安全事業株式会社 大阪 PCB 廃棄物処理施設

日本環境安全事業株式会社 (JESCO) 様では、昭和 49 年に製造や新たな使用が禁止されたポリ塩化ビフェニル (以下、PCB) 廃棄物を安全・確実に最優先に適正な処理をされています。大阪 PCB 廃棄物処理施設は、全国 5 箇所の処理施設の一つとして平成 16 年 4 月より 100% 政府出資により設立されました。

視察研修会当日、西棟では、トランス・コンデンサ等の電気機器の PCB 洗浄・分離処理設備について、東棟では、廃 PCB 等の PCB 油等の PCB 分解処理設備について、情報公開設備の映像や実際に作業されている様子とともに、説明をしていただきました。

両棟とも処理設備の安全な運転、処理の確認、排出モニタリング等が厳密に行われていました。

参加者からは、それぞれの企業で抱える PCB 処理の課題などについて質問がされ、参加者の関心の高さが伺えました。

建物の外観



施設見学の様子



工場外観の模型



大阪市環境局 舞洲工場

舞洲工場は、平成 13 年に竣工され、外観のデザインは、ウィーンのアール・ヌーヴォーの芸術家である故フリーデンスライヒ・フンデルトヴァッサー氏が手がけられました。自然界に直線、同一物が存在しないことから、曲線が多く取り入れられ、建物の周りは緑で囲まれています。従来のごみ焼却工場のイメージを払拭するデザインであり、夜間はライトアップも実施されているそうです。

工場内には、焼却炉のほか余熱利用による発電設備、排ガス中のダイオキシン類等有害物質を最新の技術で処理する設備、粗大ごみ処理設備などが備わっています。

ひと通りの説明を受け、概要などを説明したビデオを見た後、2組に分かれて工場内を見学しました。

工場内の見学コースは、小学生にもわかりやすく、また通路には手すりが備え付けられているなど、見学施設としても十分整っていました。参加者から積極的に質問する場面も見られ、見学予定時間の 1 時間半はあっという間に過ぎてしまいました。

工場内説明の様子



地域部会の活動紹介

東成地域部会

見学会及び総会・交流会を開催します。

見学先の(株)山田製作所は、年間800名を超える見学者を受け入れ、究極の3S活動により経費削減、作業効率改善に成功している事業所です。

日時：平成22年2月1日(月)

東成区役所前 12:30 集合 12:40 分出発(中型バス)

大東市山田製作所工場見学(13:30~17:00)

総会・(交流会) 城東区ダイニングステージファイブテン(18:00~)

東成地域部会会員へは、12月10日に開催案内を送付しました。多数のお申込みをお願いします。

淀川地域部会

平成21年12月17日(木)16:00から役員会を開催しました。総会の日時・場所 総会で審議する議案(20年度事業報告及び決算報告、平成21年度事業計画及び収支予算、役員の改選) 視察研修などについて検討しました。

総会・交流会当日、東成地域部会で計画中の(株)山田製作所の見学会に同行させていただき希望があり、合同で2月1日の見学会に参加させていただきように計画中です。決定次第、部会の皆さんにお知らせいたします。

好評 出前講座 ご利用募集中!

本年度から会員企業様の社員教育用に環境の専門家の出前講座を設けて、ご利用いただいております。講師費用は協議会が負担します。講座概要は以下のとおりです。

詳しくは、ホームページをご覧ください。

テーマ (例)	内 容
地球温暖化と省エネルギー	地球温暖化の仕組みと省エネ対策について企業向け、自治体、市民向け、学校児童向けに分りやすく解説します。
環境法規制を知ろう	環境基本法から派生する環境法体系とそれぞれの内容について概略を説明します。説明対象者により内容は変更します。新法規(土壌汚染対策法など)も対象です。
PRTR・MSDS について	有害化学物質の移動量を管理する法規制の内容と企業の取組みを紹介します。
循環型社会と私たちの役割	循環型社会形成促進基本法の内容をもとに考え方から個々の役割までを説明します。
化学物質の環境問題入門	自然由来の有害重金属による汚染問題があります、自然由来の汚染と化学物質による地質環境における問題を提起します。
自然環境保全について	屋外の身近な自然観察会、樹木・草本・きのこ等を観察する事を通して人間と自然環境との関わり方や、生命の大切さを学びます。
産業廃棄物の概要	廃棄物の減量と適正処理のための廃棄物処理法と産業廃棄物を取り巻く諸問題について説明します。
エコアクション2.1解説	環境省が推進する中小企業向けの環境経営システム。ISO14001より簡単で優れたところなどを紹介します。
地質汚染について	土壌・地下水等地質汚染のしくみを分かりやすく説明し、調査・浄化対策について最近の技術を紹介します。
従業員の環境教育講座	従業員に環境理念の啓発や知識を徹底するために講座シリーズを企画

(ご利用者のコメント)

- 環境経営の一環として新工場にビオトープを作ります。「皆で楽しくビオトープを創ろう!」というスローガンで、ビオトープの基礎から保守点検まで、スライド・DVDを駆使して分かりやすく、しかも生物多様性の重要性まで教えていただき大変有意義な講義でした。

サラヤ株式会社 ~ ヤシノミ洗剤 ボルネオ環境保全活動 ~

活動の背景

今、世界で最も多く生産されている植物油、「パーム油」。一見なじみのない油に思われがちですが、私たちがよく口にするポテトチップスやチョコレートなどの食べ物に多く使われています。



(チョコレートやカップラーメンなどの身近な食べ物に 85%。残りの 15% は化粧品やインク、洗剤などの非食用に使われています。)

そのパーム油の一大生産地が、日本から一番近い熱帯雨林のマレーシア・ボルネオ島です。

パーム油は食用需要を中心に年々増加し、パーム油を絞るアブラヤシプランテーション(農園)が拡大。農園の拡大に伴って、ボルネオの熱帯雨林が年々減少し、1970年代には86%を覆っていた森が2005年には60%まで減少。原生林は5~10%しか残っておらず、ボルネオゾウやオランウータンといった貴重な野生動物の生息地、ひいてはボルネオの生物多様性を脅かすことにつながります。

ボルネオ保全活動の開始

1971年にエコロジー洗剤の代名詞として誕生した「ヤシノミ洗剤」には、原料の一部にパーム油を絞った後に採れるパーム核油を使用しています。大きな企業ではないサラヤが使う量はごくわずか。しかし、パーム油に関わる企業として見過ごせない問題であることから活動を開始しました。

ゾウの救出活動

生息域を失ったゾウが農園に入り、農民が仕かけた罠に誤ってかかり、傷ついたゾウが増えています。そこでサラヤでは、現地の野生生物局(SWD)と協力し、ゾウの救出活動を開始。

現在では、サラヤ独自のプロジェクトとして5頭。この活動をきっかけに輪が広がり、現在では合計10頭以上の救出に成功しています。

BCT(ボルネオ保全トラスト)のサポート

「BCT(ボルネオ保全トラスト)」とは、マレーシア・サバ州政府認定のトラストで、アブラヤシ農園によって失った土地を買い戻し、野生生物が行き来できる『緑の回廊』を回復させる計画です。

サラヤをはじめ、現地の国際協力機構、JICA(日本政府ODA)、SWD(サバ州野生生物局)、NGOが中心となり、2006年12月にボルネオ現地にてBCT事務局を設立。

現在、サラヤではSWDに協力して募金活動を行うとともに、NPO法人BCTジャパンを通じて活動を支援しています。

2007年より、「ヤシノミ洗剤」の売上1%をBCTの活動を支援しています。

サラヤ株式会社

〒546-0013

大阪市東住吉区湯里 2-2-8

Tel : 06-6797-2525



なにわエコ会議 地球温暖化防止パートナーシップフェア

大阪市と「なにわエコ会議」は、「地球温暖化防止パートナーシップフェア」を開催しました。

本年は、12月7日からデンマークのコペンハーゲンで気候変動枠組条約第15回締約国会議（COP15）が開催されており、京都議定書に続く2013年以降の地球温暖化対策に世界で取り組むための新たな国際的枠組みについての動向に注目が集まる中、南 克昌会長にもご出席いただきました。

今回の地球温暖化防止パートナーシップフェアは、3部構成で、地球温暖化防止について考え、ごみ減量や省エネルギーなどの身近な環境保全行動の実践をわかりやすく楽しんでいただきながら紹介するイベントとなり、また市長が出席するなど、会場は大勢の皆さんで賑わっていました。

第1部は、環境保全行動に関し顕著な功績のあった個人、団体及び事業者を表彰する「平成21年度大阪市環境表彰」表彰式を、第2部は、ごみ減量の取り組みのひとつとして、大阪市、なにわエコ会議並びに事業者の3者が協働してレジ袋の更なる削減に取り組むため、「レジ袋削減協定」締結式を行い、第3部では、基調講演、講演、和太鼓の演奏を行いました。

<基調講演>

テーマ「家庭からはじめるごみ減量と温暖化対策」 講師：花嶋 温子 氏
大阪産業大学 人間環境学部 生活環境学科 講師

<講演>

テーマ「地球環境にやさしい身近な実践例」 講師：坂本 茂代 氏
NPO法人 グリーンコンシューマー大阪ネットワーク 理事

<イベント>

・「和太鼓によるコンサート」 奏者：^{みやび}雅

日時：平成21年12月12日（土） 午後1時00分～午後4時15分
会場：クレオ大阪中央（ホール）

大阪市環境表彰



基調講演



イベント



事務局だより

第3回セミナー

・第3回セミナーとして、「廃棄物」を取り上げてしております。ホームページや同封のチラシでお申し込み下さい。

騒音計を貸し出し中です。

・事業所から発生する騒音でお悩みではありませんか。簡単操作で騒音レベルを測定できる騒音計を無料で貸し出ししております。是非ご利用下さい。

【編集後記】 新年、明けましておめでとうございます。当協議会の22年1月～3月に実施予定の事業は、2月廃棄物セミナー開催、3月は公開セミナー開催、ニュースレター11号発行、理事会の準備とめじる押しです。会員様の期待にそえるよう頑張ります。今年もよろしくお願ひします。(K)

第10号 平成22年1月

発行者：大阪市環境経営推進協議会

住所：〒545-8550 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-5-1 あべのルシアス13階
大阪市 環境局 環境施策部 地球温暖化対策担当
TEL 06-6630-3467 FAX 06-6630-3580

業務委託先：NPO法人 大阪環境カウンセラー協会

住所：〒552-0021 大阪市港区築港2-8-24 piaNP0411号室
大阪市環境経営推進協議会事務局業務担当
TEL:06-6599-0600 FAX:06-6599-0607

E-mail: info@osaka-e-keiei.org

http://www.osaka-e-keiei.org/